

<介護老人保健施設>

○問21 あなたが「介護老人保健施設」を利用する上で(または事業所を選ぶ上で)大切だと思うことは何ですか。

- ・面会に行きやすい立地であること。職員の方々の温かい対応を何より重視しています。
- ・何か本人に変化があった時、常に自分一人で事に当るのではなく、施設に寄り添っていただける事が心強く感じられます。
- ・病院、施設が連携しているので、本人の体調に異変があった時に早く対処して頂けるので、有難いです。
- ・年金生活者にとって毎月の年金で賄える利用料金であってほしい。半身麻痺ということもあり、リハビリテーションが充実していること。この先は特養ということになるかとも思うが、リハビリがないとのことなので、できるだけ長く老健に入所できることを望みます。また、病院に入院した後、再入所できることも望ましいと思います。
- ・良い環境でリハビリさせたい。
- ・早く帰宅して家族と一緒に生活したいと思う為。
- ・認知症がひどくても個人を尊重したケアを望む。
- ・近くの施設だと家族が頻繁に訪問でき、本人も安心して入所出来る。すべてが想定以上の素晴らしい施設と職員各位のモラルの高さに感謝しています。
- ・介護環境を清潔に保って欲しい。
- ・職員の方の入所者に対する態度。
- ・本人の立場になって介護していただくこと。本人の身体状態等健康や環境、興味を理解して介護していただくことが大切。
- ・利用者個人に対してのケアはもちろんのこと、介護者も多くの場合、心身共に疲労しており、契約について内容を理解するのも初めての場合、どのように進展していくのか不安を抱えているように思います。
- ・感染症、医療的ケアの必要時に受入れ体制があること。

・家族で介護に方針が転換される様ですが、家庭毎にそれぞれ家族に事情があり、どうしても家庭では介護が無理な場合もあります。介護される人もする人にも良い方法を選択できる余地を残してほしいと思います。

・利用者の持ち物などの取り扱いには注意して、破損や紛失が発生しないように、配慮して欲しいです。

・健康な生活が保持できること。出来ることなら社会復帰可能なこと。

・入居者の介護方針を明確にし対処できる施設（人、物、サービス）が重要と考えます。自立可能な場合は、その為に最善をつくすことができる体制を作る施設、そして自立が出来ない場合は、本人が安らかに余命をすごすことができる体制をしくことが出来る施設。

・施設入所者は、週2回リハビリを受けていますが、リハビリ室では歩いたり階段を登ったりしているのに、その後は終日車イス生活です。転倒するからいけないということです。余暇を見付けて、5分でも10分でも歩く練習をしたら、在宅復帰も早くなるのではと思います。けれど、見守る人手がないと言いますが、ボランティアとか研修生などをお願いして廊下で練習出来ないものでしょうか。リハビリを回数を増やして下さい。せめて週3回やってもらえたらと願っています。

・リハビリテーションを充実してほしいです。1日1回程度の頻度にリハビリ回数を上げていただけると、体力が維持できるかと思います。現状は、週2回であり、家族が残りの日をフォローしています。家族がフォローしないと体力が衰えていきます。また、排泄の対応の充実を望みます。オムツ交換及び尻の洗浄の頻度アップを望みます。

・食事に関しては365日毎日面会に行って、今日はおいしかったとか献立の満足等聞こえず、味付け、温かくない、同じ様なメニューと不満の声がほとんど。その都度、料金が安いから仕方ないとあきらめの言葉で納得させている。不平不満を言えば退所させられるのでは・・・という恐れがあるので言えないし、叶えられないとも・・・。

・看取り状況になって病院に移されるのは寂しい・・・。

・看取りまで入所させてほしい。

・音楽会やアートに関するワークショップ娯楽等日常らしい楽しみをもう少し取り入れてほしい。

・母は89才と高齢であり、認知症もあります。そこで急な体調の変化等に対処して頂ける施設である事が大事であると思います。又、料金も適当であると思います。

・入所者の現状は千差万別だと思いますが、個々の現状、在宅への希望と現況によりある程度のグループ分けをした方がよい（そうしてもらって居るかも知れませんが）のではと思って居ります。

・介護の仕事は大変で感謝しております。職員の方の入れ替え、退職が多いのも良く解ります。家族側としても出来るだけコミュニケーションを大切にしたいと考えています。

・高齢のため入院することが多いのですが、再入所できるので安心して病気が治るまでいられる。

・利用者が穏やかに過す事が出来、趣味や読書などで退屈を感じ無い事が、必要と思います。

・介護は一人ではとても大変であり、常に相談にのってくれる体制が整っており、安心感がある。

・職員の体調が悪い場合に対応が早い為、安心しています。

・介護スタッフの中には、認知症を理解されていない場合があり、個人のわがままとして扱われたり、軽視されたりして、入所本人の情緒が落ち着かず、トラブルが起きることも過去にはありました。現在はよく理解の上で接していただけるので、状態が安定し、長い間の「ひきこもり」状態が徐々に解消されてよい方向に向かっています。対応の大切さを感じています。病院から退院できても制度の問題があり、元の所へ戻ることができるかどうか本人・家族共にいつも不安を抱えています。高齢になると新しい環境への順応が難しくなり、トイレ・寝る場所、同室の人、スタッフなど新たに覚える事柄の多さに混乱して状態が後退してしまった経験があります。安心して同じ場所で、できれば長期間落ち着いて生活できるようになってほしいものです。